

ネットの闇も悪くない

羽黒アキ

令和五年一〇月二三日

## あらすじ

ネットの掲示板で知り合った可愛い子に、会わないかと誘われた男。実際に会ってみると……。

## 登場人物

**男** ネットの掲示板で夜な夜な通話相手を探すのが趣味な男。リアルの友達が居ない訳では無いが、ライトな関係も好き。恋愛対象は女性。この本では振り回され役。ヘタレ。

**少年** 男にリアルで会おうと持ちかける。とても若い。女性演者さんの少年声で。必要なほど淫語を連発するが、決して受け受けしいわけではなく、むしろ精神的にはガン攻めで、相手を煽るためにあえて言っている。

## 注意事項

18禁のBLです。エロにガン振りしています。ヤマやオチなどありません。したがってイミも絶対にはありません。台本・脚本というよりは、オカズだと思ってください。

それから、少年は登場人物欄にある通りの人物なので、演技の難易度はたぶん高いです。それでも良い方のみ本編にお進みください。

## 利用規定

ニコ生、ツイキャス、声劇会議で純然たる趣味として演じられる場合は報告不要です。その他の場合は一報ください。

録音・録画される場合は、完成品を頂けると非常に励みになるばかりではなく、場合によっては次作へのインスピレーションとなるため非常に喜びます。また、――居ないとは思いますが――**有償案件に用いられる場合、営利活動の一環として演じられる場合は著作権使用料が発生しますので必ず事前にご相談ください。**

### 作者連絡先

Skype: gioseffo

Discord: gioseffo

LINE: ex.parrrot

Twitter: @Aki\_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com

だいたい掲載順に気づきやすいです。

## 1 ネット上で

男がパソコンに向かって話している。

注 このシーンでは男は相手が女性だと思っています。女性だと間違われそうな少年の声でお願いします。

男 ……でさー、あんまり詳しく言えないけどそのプロダクトがさー、なんつーか一筋縄でいかないつてか、使わせる気あんのかって感じで――

少年 オニーサン話長い。

男 あ……ごめん……。

少年 聞いている方はわけわからないんだけど。

男 ごめん。

少年 はあ……オニーサン、もしかして溜まってる？

男 はあ？

少年 愚痴。

男 ああ、そっちか。

少年 なんだと思ったの？

男 ……なんでもない。

少年 あーあ、もう寝る時間だ。

男 悪い。

少年 もういいよ。……だったら今度の週末、会ってゆっくり話そうよ。私も聞いてほしい話いっぱいあるし、愚痴大会しよ？

男 え、いいの？

少年 いいよ。オニーサンも関東でしょ？土曜日11時に池袋東口のふくろう交番でどう？

男 ああ、わかった。楽しみにしてる。

少年 私も。

## 2 池袋・ふくろう交番前

男がスマートフォンを片手に待っている。

ネット通話アプリに着信がある。

男 もしもし。

少年 オニーサン、来たよ。

男 ああ、どこだ？

少年 うーんとね、ふくろう交番のマツキヨ側。あ、電話してる人がいる。オニーサンかな？

男 え？

少年 やっぱり。オニーサンみつけ。

男 もしかして……

少年、男の前まで来る。

少年 えへへ、待った？

男 男？子供!?

少年 出会って第一声がそれ？

男 いやいやいやいや、何しに来た。

少年 オニーサンと話しに。

男 罰ゲームかなにかか？

少年 あ、バレた？うん、ちょっとした罰ゲーム。女のフリしてネットで適当な男をひっかけろって。

男 子供の遊びに大人を巻き込むな。ってか、危ないだろ。

少年 んー、やっぱりそうかなあ。

男 当たり前だ。じゃあ、罰ゲームは終わりならもういいな？ったく、時間を無駄にしたよ。

少年 待って、せつかくだしさ、ちょっと話していこうよ。俺だって愚痴りたいことあるのはホントだし。

男 はあ？この組み合わせでどこ行くんだよ。不自然だろ。

少年 うーん、ラブホ。

男 行けるわけねーだろ。

少年 えー。じゃあ、オニーサンの家。近い？

男 電車で30分くらい……ってそれもダメだ。

少年 いいの？そんなこと言って。

男 はあ？

少年 ここ交番の前だし、大声出しちゃおうかな。

男 やめろ。

少年 じゃあ連れてって。

男 ぐ……

少年 どーする？

6 男 ……わかったよ。  
少年 やった。

### 3 男の家

男 言っとくが、何も無いぞ。

少年 いいよ。おじやましまーす。

男 コーヒー……は、ダメだよな。えーつと……

少年 お気遣いなく。

男 既にじゅうぶん遣わせてる。

少年 ごめんで。

男 で、まだ罰ゲームの続きか？どこから誰が見てるんだ？

少年 ううん、ホントは罰ゲームでもなんでもないんだ。

男 じゃあ何だ。

少年 こじんてききよーみ。

男 はあ？

少年 ちよつとね、えっちなことしてみたいなって。

男 はあ？

少年 オニーサン、後腐れなさそうだし。

男 マセガキが。お断りだ。

少年 えー。

男 そういうことならもう帰れ……って何脱いで――

少年 この格好で今外に出たら、どうなっちゃうかな？

男 はあ？

少年 オニーサンの家から裸の見知らぬ子供が泣きながら逃げてきたら、どうなっちゃうかな？

男 またそれか……望みは何だよ。

少年 じゃあ、ね、オニーサンも脱いで。

男 あのなあ……

少年 脱・い・で。

男 ……わかったよ。

少年 ちゃんとパンツも脱いでね。

男 あのなあ……

少年 くら、大事などこ隠しちゃだめ。ちゃんと見せて。じゃないと、このまま大声出して出て行っちゃうよ？

男 わーっただよ……。

少年 ふーん、これがおちんちんかあ……。

男 まじまじと見るな。顔を近づけるな。ってか、お前にもついてるだろ。

少年 そうだね、でもこんな大人のおちんちんじゃないから。あ、オニーサンも見たい？

男 いらん。

少年 えー、俺ってそんな魅力ない？むー。あ、そうだ。ふーっ。

男 息を吹きかけるな。

少年 気持ちよくない？

男 当たり前だ。

少年 でも、オニーサンのおちんちん、おつきくなってきたよ？

男 ぐっ……

少年 あのね、一度してみたかったことがあるんだ。

男 まだあるのか。

少年 うん。オニーサンの大人なおちんちん、いただきまーす。はむっ。

男 おいっ！

少年 (フェラしながら) んー……これが……おちんちんの……味……なんだ……。思ってたより……美味しい……。

男 やめろ。

少年 (フェラしながら) えー……でも……オニーサンの……おちんちん……俺のお口の中で、びくってなるよ？

男 ……しょうがねえだろ。

少年 (フェラしながら) 美味しい……オニーサンのおちんちん……美味しい……。言うな……。

少年 (フェラしながら) でも、オニーサンのおちんちんは、まんざらでもないみたいだよ？俺が「おちんちん」って言うたび、びくってなる。えっちな言葉言われるの、好きなんだ。

男 うるせえ。

少年 (フェラしながら) いっぱい言ってあげるね。オニーサンのおちんちん、すごく美味しい。

男 やめてくれ……もう、ほんと……

少年 (フェラしながら) やーめないっ。だってオニーサンのおちんちん、すごく美味しいんだもん。

男 ほんとに、やめっ……

少年 (フェラしながら) あ、もしかして出そうなの？いいよ、俺のお口に出して。飲んでみたかったんだ、精液。あ、精液って言ったらまたびくってなった。本当にえっちな言葉好きなんだね。

男 うるせ……

少年 (フェラしながら) 出ーしーてっ。おちんちんから精液いっぱい出して。精液飲ませて。

男 (イッて) うっ……

少年 (口で受け止めて) んう……ん……。

男 悪い……いやでもお前が……。

少年 んー。(飲み込む)……んっ。美味しい。オニーサンの精液、美味しい。また飲ませて。

男 ヤだよ。

少年 えー。楽しかったくせに。ねえ、キスしていい？

男 嫌だ。

少年 そんなこと言わずにさー。(男のモノにキスをする)

男 んっ……そっちかよ。

少年 だって、好きなんだもん。あ、またおっきくなった。

男 ……しょうがねえだろ。

少年 じゃあさあ、今度は俺も気持ちよくなっていい？

男 おい、まさか……

少年、男のモノを自分の中に迎え入れる

少年 んあっ……

男 う……わ……

少年 えへへー、入っちゃった。

男 う……キツ……

少年 我慢して。初めてなんだもん。

男 これ……やばい……

少年 あ、気持ちいい？よかった。俺も、気持ちいい。ねえ、見て。オニーサンのおちんちん、

俺のおしりおまんこに入ってる。

男 見なくても……わかる……

少年 あ、おしりって言っちゃヤダ？しょうがないなあ。じゃあ……俺の、おまんこ、気持ちいいよ……。オニーサンのおちんちん、おっきくて、おまんこのなかに入ってる、気持ちいい。

男 どこで……そんな……言葉……覚えて……

少年 どこだって、いいでしょ。あつ、気持ちいい。すごい、おまんこ、気持ちいい。オニーサンのおちんちんが気持ちいい。

男 やめろ、錯覚……する……。



少年 ふあっ……。おまんこの、中、ゴリゴリって……。オニーサンのおちんちんが、俺の……前立腺……。ゴリゴリって……。気持ちいい……。ねえ、見て。俺の、おちんちんも、おっきく……。なってきた。

男 可愛いって思っちゃまうから、マジでやめろ。

少年 ホント？ありがとう。そう思ってくれるなら……。出して……。

男 やめろ、抑え、利かなくなる……。

少年 俺のおまんこの中に、オニーサンの精液いっぱい出して。

男 やめろって。

少年 やだ、やめない。オニーサンもここでやめたら辛いクセに。

男 人として大事なものを失うよりマシだ。

少年 いいんだよ。だから、ね？出して。オニーサンの精液、俺のおまんこの中に、いっぱい、いっぱい出して。おまんこキュンキュンするから……。これ、好きだから……。

男 ほんとに……。もう……。やめっ……。

少年 あ、そうか。オニーサン、出そうなんだ。おちんちんから精液いっぱい出しちゃいそうなんだ。うん、いいよ。俺も、なんか、出そう。えへへ、はじめて、なんだ。今まで出たこと、ないんだ。だから、俺も、精液、出してみたい。

男 ほんとに、いいのか……。だったら……

少年 あんっ……。やっつと、オニーサンから……。動いて……。くれた……。すご……。自分だけで……。動くより……。もっつと……。気持ちいい……。

男 俺だって、気持ちよくないわけじゃ、ないし……

少年 ほんと？……。嬉しい。じゃあ、一緒に……。イこう？出して、俺の、おまんこに、オニーサンの精液、いっぱい出して。

男 いいんだな？もう歯止め、利かないからな。

少年 いいよ。おまんこ気持ちいいの。オニーサンのおちんちんが気持ちいいの。俺のおまんこで、オニーサンの精液いっぱい飲みたいの。だから、出して。おまんこの中に、精液いっぱい出して。

男 (イク)

少年 (同時にイク) ああああああ……

おまんこの……。奥……。精液が……。いっぱい……

これ……。好き……

#### 4 男の家・事後

<sup>9</sup>少年 楽しかったー。

10 男 (声にならない自己嫌悪の声)

少年 そんな顔しないの。楽しかったでしょ？俺は楽しかったよ。

男 あのなあ。

少年 だから、また来ていい？

男 嫌だって言ったらまた脅すんだろ。

少年 バレた？今は事後だからリアリティあるよー？

終劇

## あとがき

某 Discord 声劇サーバの管理者をやってらっしゃる女性が、魅力的にシヨタを演じてくれるので書きたくなったやつです。

カラダ的には受け側だけど、精神的にはめっちゃ煽ってくるガン攻め……そういうシヨタもいいですよ？ね??なので、意図通りに演じてもらうのは意外と難易度が高いかもしれませぬ。

「演じてみた」報告は不要ですが、頂けると励みになります。また、演じた際の録音などを頂けると、飛び上がって喜ぶばかりか、それ自体がアイデアの源泉になったりもします。

最後になりましたが、この本に対する誤字脱字、読みにくい、つまらない等のご指摘は、左記にお願いいたします。

Skype: gioseffo

Discord: ノキ#5530

LINE: ex.parrrot

Twitter: @Aki\_HAGURO

メール: akio.hiyoshi@gmail.com

だいたい掲載順に気づきやすいです。